

大学番号：170

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

松蔭大学 看護学部 看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 松蔭学園  
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムキョクチョウ 事務局長 シライダイシ 白井大史

電話番号 046-247-1511

（夜間） 090-4060-5261

F A X 046-247-4234

e-mail daishi@shoin-u.ac.jp

# 目次

## 看護学部

| <看護学科>            | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等    | 1   |
| 2. 授業科目の概要        | 5   |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費  | 9   |
| 4. 既設大学等の状況       | 10  |
| 5. 教員組織の状況        | 11  |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 21  |
| 7. その他全般的事項       | 25  |

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人松蔭学園

## (2) 大学名

松蔭大学

## (3) 大学の位置

〒243-0124  
神奈川県厚木市森の里若宮9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

| 職名   | 設置時                                | 変更状況                               | 備考        |
|------|------------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 理事長  | ( マツウラ マサテル )<br>松浦正晃<br>(平成10年4月) |                                    |           |
| 学長   | ( マツウラ マサテル )<br>松浦正晃<br>(平成16年4月) |                                    |           |
| 学部長  | ( オオハシ ユミコ )<br>大橋優美子<br>(平成27年4月) |                                    |           |
| 学科長等 | ( カザオカ タマヨ )<br>風岡たま代<br>(平成27年4月) | ( カキウチ テルタカ )<br>垣内史堂<br>(平成27年4月) | 辞任のため(27) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位)          | 設置時の計画 |      |          |      | 備考 |
|-------------------------|--------|------|----------|------|----|
|                         | 修業年限   | 入学定員 | 編入学定員    | 收容定員 |    |
| 看護学部<br>看護学科<br>学士(看護学) | 4年     | 100人 | -<br>年次人 | 400人 |    |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分             | 対象年度                   |        | 平成27年度                 |        | 平成28年度 |        | 平均入学定員<br>超過率 | 備考 |
|----------------|------------------------|--------|------------------------|--------|--------|--------|---------------|----|
|                | 春季入学                   | その他の学期 | 春季入学                   | その他の学期 | 春季入学   | その他の学期 |               |    |
| A 入学定員         | 100人<br>( - )<br>[ - ] | -      | 100人<br>( - )<br>[ - ] | -      |        |        | 0.59倍         |    |
| 志願者数           | 165<br>( - )<br>[ - ]  | -      | 195<br>( - )<br>[ - ]  | -      |        |        |               |    |
| 受験者数           | 137<br>( - )<br>[ - ]  | -      | 184<br>( - )<br>[ - ]  | -      |        |        |               |    |
| 合格者数           | 116<br>( - )<br>[ - ]  | -      | 131<br>( - )<br>[ - ]  | -      |        |        |               |    |
| B 入学者数         | 73<br>( - )<br>[ - ]   | -      | 45<br>( - )<br>[ - ]   | -      |        |        |               |    |
| 入学定員超過率<br>B/A | 0.73                   |        | 0.45                   |        |        |        |               |    |

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 対象年度                 |                     | 平成27年度               |                      | 平成28年度 |        | 備考                     |  |
|-----|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|--------|--------|------------------------|--|
|     | 春季入学                 | その他の学期              | 春季入学                 | その他の学期               | 春季入学   | その他の学期 |                        |  |
| 1年次 | [ - ]<br>( - )<br>73 | [ - ]<br>( - )<br>- | [ - ]<br>(17)<br>62  | [ - ]<br>( - )<br>-  |        |        |                        |  |
| 2年次 | /                    |                     | [ - ]<br>( - )<br>49 | [ - ]<br>( - )<br>-  |        |        |                        |  |
| 3年次 |                      |                     | /                    |                      |        |        |                        |  |
| 4年次 |                      |                     |                      |                      | /      |        |                        |  |
| 計   |                      |                     | [ - ]<br>( - )<br>73 | [ - ]<br>( 17 )<br>- |        |        | [ - ]<br>( 17 )<br>111 |  |

- (注)
- ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分<br>対象年度    | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) |      |                 | 主な退学理由  | 入学者数に<br>対する退学者数<br>の割合<br>(a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|---|----------------------------------|
|               |         |         | 退学した年度   | 退学者数 | 退学者数の<br>うち留学生数 |   |                                  |
| 平成27年度<br>入学者 | 73 人    | 7 人     | 平成27年度   | 6 人  | 0 人             | ・他の教育機関への入学・転学(2人)<br>・学生個人の心身に関する事情(2人)<br>・家庭の事情(1人) ・就学意欲の低下(1人) | 0.0958904 %                      |
|               |         |         | 平成28年度   | 1 人  | 0 人             |   |                                  |
| 平成28年度<br>入学者 | 45 人    | 0 人     | 平成28年度   | 0 人  | — 人             |   | 0 %                              |
| 合 計           | 118 人   | 7 人     |          |      |                 |   | 0.059322 %                       |

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分          | 授業科目の名称                 | 配当年次 | 単位数 |    |    | 専任教員等の配置 |     |    |    |    | 備考 |    |
|---------------|-------------------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|----|----|
|               |                         |      | 必修  | 選択 | 自由 | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 |    |    |
| 基礎分野          | 吉田松陰論                   | 1前   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 倫理学                     | 1前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 哲学                      | 1前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | ホスピタリティ論Ⅰ               | 1前   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | ホスピタリティ論Ⅱ               | 1後   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | スポーツ論                   | 1前・後 |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | スポーツ実技                  | 2前・後 |     | 1  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 心理学                     | 1前   |     |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 日本国憲法                   | 3前   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 社会学                     | 2前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 感情と行動                   | 2後   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 法学                      | 3前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 教育学                     | 2後   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 政治学                     | 3前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 経済学                     | 2前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 伝統文化                    | 3前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 異文化論                    | 4前   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 英語コミュニケーションA (Reading)  | 1前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 英語コミュニケーションB (Hearing)  | 1後   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 英会話 (看護英語)              | 1後   |     | 1  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 独語コミュニケーションA (文法)       | 1前   |     | 1  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 独語コミュニケーションB (Reading)  | 1後   |     | 1  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 医療コミュニケーション論            | 1後   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 生物学                     | 1前   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 生化学基礎                   | 1前   | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 情報基礎                    | 1前・後 | 2   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 看護情報学                   | 1後   |     | 2  |    |          |     |    |    |    | 兼2 |    |
| 人間と環境         | 2後                      |      | 2   |    |    |          |     |    |    | 兼1 |    |    |
| 保健統計学         | 3前                      |      | 2   |    |    |          |     |    |    | 兼1 |    |    |
| 自然科学          | 1後                      |      | 2   |    |    |          |     |    |    | 兼1 |    |    |
| 専門基礎分野        | 身体の構造・機能A (総論、構造)       | 1前   | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |    | 共同 |
|               | 身体の構造・機能B (機能)          | 1前   | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |    | 共同 |
|               | 看護のための生化学               | 1後   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 看護のための薬理学               | 1後   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 看護のための栄養学               | 1後   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 病態学総論                   | 1後   | 1   |    |    | 1        |     |    |    |    |    |    |
|               | 病態と治療A (脳・神経・消化器・腎・内分泌) | 1後   | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |    | 共同 |
|               | 病態と治療B (呼・循・血液・感染・免疫)   | 1後   | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |    | 共同 |
|               | 病態と治療C (運動器)            | 2前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 病態と治療D (小児)             | 2前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 病態と治療E (女性生殖器)          | 2前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
|               | 医療系アドバンスセミナー            | 4後   | 1   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |    |    |
|               | 環境・健康の理解                | 公衆衛生 | 2前  | 1  |    |          |     |    |    |    |    | 兼1 |
| 看護関係法規        |                         | 2前   | 1   |    |    | 2        |     |    |    |    |    |    |
| 医療経済          |                         | 2後   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
| 保健医療福祉行政論     |                         | 2前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
| 社会福祉概論        |                         | 1前   | 1   |    |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
| 保健医療福祉制度の国際比較 |                         | 4後   |     | 1  |    |          |     |    |    |    | 兼1 |    |
| 先端医療概論        |                         | 4後   |     | 1  |    |          |     | 1  |    |    | 兼1 |    |
| 専門分野          | 看護学概論                   | 1前   | 2   |    |    | 1        |     |    |    |    |    |    |
|               | 看護入門                    | 1前   | 2   |    |    | 1        | 2   |    | 4  |    |    | 共同 |
|               | 看護方法論                   | 1後   | 2   |    |    | 0        | 1   |    | 2  | 4  |    | 共同 |
|               | 生活援助技術A (環境の整備)         | 1前   | 1   |    |    | 1        | 2   |    | 2  | 4  |    | 共同 |
|               | 生活援助技術B (日常生活援助)        | 1後   | 2   |    |    | 0        | 1   |    | 2  | 4  |    | 共同 |
|               | 医療支援技術                  | 2前   | 2   |    |    | 1        | 0   |    | 2  | 2  |    | 共同 |
|               | フィジカルアセスメント             | 2前   | 1   |    |    | 1        | 1   |    | 2  | 2  |    | 共同 |
|               | 基礎看護学実習Ⅰ (看護の役割)        | 1後   | 1   |    |    | 2        | 1   |    | 2  | 4  |    | 共同 |
|               | 基礎看護学実習Ⅱ (生活援助)         | 2前   | 2   |    |    | 2        | 1   |    | 2  | 4  |    | 共同 |

| 科目<br>区分  | 授業科目の名称                | 配当<br>年次           | 単位数 |    |             | 専任教員等の配置 |                                 |                            |                  |    | 備考           |    |       |    |
|-----------|------------------------|--------------------|-----|----|-------------|----------|---------------------------------|----------------------------|------------------|----|--------------|----|-------|----|
|           |                        |                    | 必修  | 選択 | 自由          | 教授       | 准教授                             | 講師                         | 助教               | 助手 |              |    |       |    |
| 専門分野      | ライオンと看護学               | 小児看護学概論            | 2後  | 2  |             |          |                                 | 0<br>1<br>0<br>1<br>0<br>1 |                  |    |              | 兼1 |       |    |
|           |                        | 小児発達援助演習           | 3前  | 2  |             |          |                                 |                            | 1                | 1  |              |    | 共同    |    |
|           |                        | 小児看護学実習            | 3後  | 2  |             |          |                                 |                            | 1                | 1  |              |    | 共同    |    |
|           |                        | 成人看護学概論            | 1後  | 2  |             |          | 2                               |                            |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | 成人発達援助演習Ⅰ（急性期・回復期） | 2後  | 2  |             |          | 1                               |                            | 2<br>3           |    | 1            |    | 共同    |    |
|           |                        | 成人発達援助演習Ⅱ（慢性期・終末期） | 3前  | 2  |             |          |                                 |                            | 2<br>3<br>4      |    | 3<br>1       |    | 共同    |    |
|           |                        | 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）  | 3後  | 3  |             |          | 1                               |                            | 2<br>3           |    | 3<br>1<br>3  |    | 共同    |    |
|           |                        | 成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）  | 3後  | 3  |             |          |                                 |                            | 1<br>3<br>4      |    | 4<br>2<br>3  |    | 共同    |    |
|           |                        | 老年看護学概論            | 2前  | 2  |             |          | 1                               |                            |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | 老年発達援助演習           | 2後  | 2  |             |          | 1                               |                            |                  | 2  |              |    |       | 共同 |
|           | 老年看護学実習Ⅰ（地域で生活する高齢者ケア） | 2後                 | 2   |    |             | 1        |                                 |                            | 2                |    |              |    | 共同    |    |
|           | 老年看護学実習Ⅱ（施設入所の高齢者ケア）   | 3後                 | 2   |    |             | 1        |                                 |                            | 2                |    |              |    | 共同    |    |
|           | ウイメンズ看護学               | 家族看護論              | 2後  | 1  |             |          | 1                               |                            |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | 母性看護学概論            | 2前  | 2  |             |          | 1                               | 1                          |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | ウィメンズヘルス援助演習       | 3前  | 2  |             |          | 1                               | 1                          | 1<br>2<br>1<br>2 |    | 1            |    | 共同    |    |
|           |                        | 母性看護学実習            | 3後  | 2  |             |          | 1                               | 1                          |                  |    | 1            |    | 共同    |    |
|           | 地域社会と看護学               | 地域看護論              | 2後  | 2  |             |          |                                 | 1                          | 1                |    |              |    |       |    |
|           |                        | 在宅看護概論             | 2前  | 2  |             |          | 1                               |                            |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | 在宅看護援助演習           | 2後  | 2  |             |          | 1                               | 1                          | 2                |    |              |    | 共同    |    |
|           |                        | 在宅看護実習             | 4前  | 2  |             |          | 1                               | 1                          | 2                |    |              |    | 共同    |    |
|           |                        | 産業保健               | 2後  | 1  |             |          |                                 |                            |                  |    |              |    | 兼1    |    |
|           |                        | 精神看護学概論            | 2前  | 2  |             |          | 1<br>0<br>1<br>0<br>1<br>0<br>1 |                            |                  |    |              |    |       |    |
|           |                        | 精神看護援助演習           | 3前  | 2  |             |          |                                 |                            | 0<br>1           |    | 1            |    | 共同    |    |
|           |                        | 精神看護学実習            | 3後  | 2  |             |          |                                 |                            | 0<br>1           |    | 1            |    | 共同    |    |
|           | トータル統合                 | 看護マネジメント           | 4後  | 1  |             |          |                                 |                            | 1<br>2<br>1<br>2 |    | 1            |    | 共同    |    |
|           |                        | 医療安全管理論            | 4前  | 1  |             |          |                                 |                            | 2                |    | 1            |    |       |    |
|           |                        | 看護事例演習             | 4通  |    | 2           |          | 2<br>1                          | 0<br>1                     | 7<br>8           |    | 3<br>2<br>3  |    | 共同    |    |
|           |                        | 健康教育論              | 3前  |    | 1           |          |                                 |                            |                  |    |              |    | 兼1    |    |
|           |                        | 看護研究方法論            | 3前  | 1  |             |          | 2                               |                            |                  |    |              |    | 共同    |    |
|           |                        | 統合看護実習             | 4前  | 2  |             |          | 6<br>5<br>7                     | 4<br>2<br>3                | 8<br>9<br>12     |    | 11<br>5<br>8 |    | 共同    |    |
|           |                        | 災害・救急看護            | 4後  | 1  |             |          |                                 | 1                          |                  |    | 0<br>1       |    | 兼1 共同 |    |
|           |                        | 看護研究               | 4通  | 4  |             |          | 6<br>5<br>7                     | 4                          | 3<br>4           |    | 2<br>0<br>1  |    | 共同    |    |
|           |                        | 看護倫理               | 3前  | 1  |             |          | 2                               |                            |                  |    |              |    | 共同    |    |
| 国際医療と看護協力 |                        | 4前                 |     | 1  |             |          |                                 |                            |                  |    |              | 兼1 |       |    |
| 卒業演習      | 4後                     | 1                  |     |    | 7<br>6<br>8 | 4<br>3   | 8<br>9<br>12                    |                            | 6<br>0<br>1      |    | 共同           |    |       |    |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。



(2) 授業科目数

| 設置時の計画 |    |    |    | 変更状況  |       |       |       | 備 考 |
|--------|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-----|
| 必修     | 選択 | 自由 | 計  | 必修    | 選択    | 自由    | 計     |     |
| 科目     | 科目 | 科目 | 科目 | 科目    | 科目    | 科目    | 科目    |     |
| 69     | 24 | 0  | 93 | 69    | 24    | 0     | 93    |     |
|        |    |    |    | [ 0 ] | [ 0 ] | [ 0 ] | [ 0 ] |     |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 該当なし

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1  |       |     |      |       |       |                |
| 2  |       |     |      |       |       |                |
| 3  |       |     |      |       |       |                |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|---------------|
| 1  |       |     |      |       |       |               |
| 2  |       |     |      |       |       |               |
| 3  |       |     |      |       |       |               |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|      |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分                 |                             | 内 容                         |                         |                           |                       | 備考                            |            |          |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------------------|------------|----------|
| (1) 校地等             | 区 分                         | 専 用                         | 共 用                     | 共用する他の学校等の専用              | 計                     |                               |            |          |
|                     | 校舎敷地                        | 7,692 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>          | 7,692 m <sup>2</sup>  |                               |            |          |
|                     | 運動場用地                       | 17,970 m <sup>2</sup>       | 0 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>          | 17,970 m <sup>2</sup> |                               |            |          |
|                     | 小 計                         | 25,662 m <sup>2</sup>       | 0 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>          | 25,662 m <sup>2</sup> |                               |            |          |
|                     | そ の 他                       | 14,445 m <sup>2</sup>       | 0 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>          | 14,445 m <sup>2</sup> |                               |            |          |
|                     | 合 計                         | 40,107 m <sup>2</sup>       | 0 m <sup>2</sup>        | 0 m <sup>2</sup>          | 40,107 m <sup>2</sup> |                               |            |          |
| (2) 校 舎             | 専 用                         | 共 用                         | 共用する他の学校等の専用            | 計                         |                       |                               |            |          |
|                     | ( 18,868 m <sup>2</sup> )   | ( m <sup>2</sup> )          | ( m <sup>2</sup> )      | ( 18,868 m <sup>2</sup> ) |                       |                               |            |          |
| (3) 教 室 等           | 講 義 室                       | 演 習 室                       | 実験実習室                   | 情報処理学習施設                  | 語学学習施設                | キャリアセンターを第4コンピュータ室に変更したため(28) |            |          |
|                     | 26 室                        | 17 室                        | 5 室                     | 3 4 室<br>(補助職員 1人)        | 2 室<br>(補助職員 0人)      |                               |            |          |
| (4) 専任教員研究室         | 新設学部等の名称                    |                             |                         | 室 数                       |                       |                               |            |          |
|                     | 看護学部 看護学科                   |                             |                         | 22 室                      |                       |                               |            |          |
| (5) 図書・設備           | 新設学部等の名称                    | 図 書                         | 学術雑誌                    |                           | 視聴覚資料                 | 機械・器具                         | 標 本        |          |
|                     |                             | [うち外国書]                     | [うち外国書]                 | 電子ジャーナル                   |                       |                               |            |          |
|                     | 冊                           | 種                           | [うち外国書]                 | 点                         | 点                     | 点                             |            |          |
|                     | 看護学部                        | 3,637 [160]<br>(2,686 [79]) | 19 [0]<br>(16 [0])      | 1 [1]<br>(1 [1])          | 205<br>(205)          | 550<br>(550)                  | 60<br>(60) |          |
| 計                   | 3,637 [160]<br>(2,686 [79]) | 19 [0]<br>(16 [0])          | 1 [1]<br>(1 [1])        | 205<br>(205)              | 550<br>(550)          | 60<br>(60)                    |            |          |
| (6) 図 書 館           | 面 積                         |                             | 閲 覧 座 席 数               |                           | 収 納 可 能 冊 数           |                               |            |          |
|                     | 1,200 m <sup>2</sup>        |                             | 190                     |                           | 180,000               |                               |            |          |
| (7) 体 育 館           | 面 積                         |                             | 体育館以外のスポーツ施設の概要         |                           |                       |                               |            |          |
|                     | 3,342 m <sup>2</sup>        |                             | テニスコート 6 面 ゴルフ練習場 10 打席 |                           |                       |                               |            |          |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り                      | 区 分                         | 開設年度                    | 完成年度                      | 区 分                   | 開設前年度                         | 開設年度       | 完成年度     |
|                     |                             | 教員1人当り研究費等                  | 400 千円                  | 400 千円                    | 図書購入費                 | 15,000 千円                     | 3,429 千円   | 2,940 千円 |
|                     | 共同研究費等                      | 1,000 千円                    | 1,000 千円                | 設備購入費                     | 110,000 千円            | 10,000 千円                     | 20,000 千円  |          |
|                     | 学生1人当り納付金                   | 第1年次                        | 第2年次                    | 第3年次                      | 第4年次                  | 第5年次                          | 第6年次       |          |
|                     |                             | 1,810 千円                    | 1,480 千円                | 1,480 千円                  | 1,480 千円              | — 千円                          | — 千円       |          |
| 学生納付金以外の維持方法の概要     |                             | 私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入       |                         |                           |                       |                               |            |          |

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

| 大学の名称               | 松 蔭 大 学  |          |           |          |                            |                   |            | 備 考              |
|---------------------|----------|----------|-----------|----------|----------------------------|-------------------|------------|------------------|
| 既設学部等の名称            | 修業<br>年限 | 入学<br>定員 | 編入学<br>定員 | 収容<br>定員 | 学位又<br>は称号                 | 平均入学<br>定員<br>超過率 | 開 設<br>年 度 | 所 在 地            |
|                     | 年        | 人        | 年次<br>人   | 人        |                            | 倍                 |            |                  |
| 経営文化学部              |          |          |           |          |                            |                   |            |                  |
| ビジネスマネジメント学科        | 4        | 88       | 3年次<br>2  | 400      | 学士<br>(経営文化学)              | 0.43              | 平成12年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 経営法学科               | 4        | 80       | 3年次<br>2  | 324      | 学士<br>(経営文化学)              | 0.34              | 平成24年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 金融経済学科              | 4        | 60       | 3年次<br>2  | 182      | 学士<br>(経営文化学)              | 0.06              | 平成25年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| コミュニケーション文化学部       |          |          |           |          |                            |                   |            |                  |
| 異文化コミュニケーション<br>学科  | 4        | 48       | 3年次<br>2  | 196      | 学士<br>(異文化<br>コミュニケーション学)  | 0.2               | 平成16年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 生活心理学科              | 4        | 48       | 3年次<br>2  | 196      | 学士<br>(応用心理学)              | 0.46              | 平成24年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 日本文化コミュニケーション<br>学科 | 4        | 48       | 3年次<br>2  | 146      | 学士<br>(日本文化<br>コミュニケーション学) | 0.23              | 平成25年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 観光メディア文化学部          |          |          |           |          |                            |                   |            |                  |
| 観光文化学科              | 4        | 60       | 3年次<br>2  | 371      | 学士<br>(観光文化学)              | 0.4               | 平成21年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| メディア情報文化学科          | 4        | 60       | 3年次<br>2  | 182      | 学士<br>(メディア情報文<br>化学)      | 0.04              | 平成25年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 看護学部                |          |          |           |          |                            |                   |            |                  |
| 看護学科                | 4        | 100      | —         | 100      | 学士<br>(看護学)                | 0.59              | 平成27年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |
| 大学院<br>経営管理研究科      |          |          |           |          |                            |                   |            |                  |
| 経営管理専攻              | 2        | 10       | —         | 20       | 修士<br>(経営管理)               | 1.2               | 平成18年度     | 厚木市森の里若<br>宮9番1号 |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

看護学部 看護学科

(1) 担当教員表

| 設置時の計画     |          |        |         |  | 変更状況       |          |        |         |  | 備考   |
|------------|----------|--------|---------|--|------------|----------|--------|---------|--|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名       | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名       | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  |  |
| 専          | 教授(学部長)  | 大橋 優美子 | 平成27年4月 | 成人看護学概論<br>看護関係法規<br>看護事例演習<br>看護倫理<br>卒業演習  |            |          |        |         |  |  |
| 専          | 教授       | 垣内 史堂  | 平成27年4月 | 身体の構造・機能A(総論、構造)<br>身体の構造・機能B(機能)<br>病態学総論<br>病態と治療A(脳・神経・消化器・腎・内分泌)<br>病態と治療B(呼・循・血液・感染・免疫)<br>医療系アドバンスセミナー                     | 専          | 教授(学科主任) | 垣内 史堂  | 平成27年4月 |  | 職名変更(27)   |
| 専          | 教授       | 谷井 康子  | 平成27年4月 | 老年看護学概論<br>老年発達援助演習<br>老年看護学実習Ⅰ(地域で生活する高齢者ケア)<br>老年看護学実習Ⅱ(施設入所の高齢者ケア)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習                                  |            |          |        |         |  |  |
| 専          | 教授       | 湯澤 八江  | 平成27年4月 | 看護学概論<br>看護入門<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>看護研究方法論<br>統合看護実習<br>看護研究<br>看護倫理<br>卒業演習 |            |          |        |         |  |  |
| 専          | 教授       | 加城 貴美子 | 平成28年4月 | 家族看護論<br>母性看護学概論<br>ウイメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>看護研究方法論<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |          |        |         |  |  |
| 専          | 教授       | 廣橋 容子  | 平成27年4月 | 看護関係法規<br>在宅看護概論<br>在宅看護援助演習<br>在宅看護実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |          |        |         |  |  |
| 専          | 教授(学科主任) | 風岡 たま代 | 平成27年4月 | 成人看護学概論<br>成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   | 専          | 教授(学科主任) | 風岡 たま代 | 平成27年4月 |  | 職名変更(27)   |
| 専          | 教授       | 篠原 百合子 | 平成27年4月 | 精神看護学概論<br>精神看護援助演習<br>精神看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |          | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>篠原百合子就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。 |
|            |          |        |         |  | 専          | 教授       | 丸山 昭子  | 平成28年4月 | 精神看護学概論<br>精神看護援助演習<br>精神看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 平成27年12月<br>A C教員審査提出済(28)                               |

| 設置時の計画     |     |        |         |  | 変更状況       |    |        |         |  | 備考   |   |
|------------|-----|--------|---------|--|------------|----|--------|---------|--|--|---|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  |  |   |
| 専          | 教授  | 川守田 千秋 | 平成27年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 |            |    | 後任未定   |         | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>卒業演習 | 平成27年3月<br>川守田千秋就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。<br>開講している「看護入門」「看護方法論」「生活援助技術A(環境の整備)」「生活援助技術B(日常生活援助)」「基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)」は、他に担当教員がいるため支障はないと考えている。 |   |
|            |     |        |         |  |            |    | 皆藤 広美  | 平成28年4月 | 看護入門<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>卒業演習  |  | 平成27年3月<br>川守田千秋就任辞退(27)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)  |
|            |     |        |         |  |            |    | 渡邊 裕見子 | 平成28年4月 | 看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>統合看護実習  |  |   |
|            |     |        |         |  |            |    | 後任未定   |         | 看護研究   |  | 平成27年3月<br>川守田千秋就任辞退(27)<br>A C教員審査<br>平成28年6月変更書提出予定 |
| 専          | 准教授 | 澤田 和美  | 平成28年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 |            |    |        |         |  |  |   |
| 専          | 准教授 | 大堀 昇   | 平成27年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 |            |    |        |         |  |  |   |
| 専          | 准教授 | 高橋 明美  | 平成28年4月 | 小児看護学概論<br>小児発達援助演習<br>小児看護学実習<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習   |            |    | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>高橋明美就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。  |   |
|            |     |        |         |  | 兼任         | 講師 | 山口 明子  | 平成28年4月 | 小児看護学概論  |  | 就任辞退のため担当者の変更(28)                                     |
| 専          | 准教授 | 吉井 信哉  | 平成27年4月 | 身体の構造・機能A(総論、構造)<br>身体の構造・機能B(機能)<br>病態と治療A(脳・神経・消化器・腎・内分泌)<br>病態と治療B(呼・循・血液・感染・免疫)<br>医療系アドバンスセミナー<br>先端医療概論<br>災害・救急看護                   |            |    |        |         |  |  |   |
| 専          | 講師  | 成島 ますみ | 平成28年4月 | 老年発達援助演習<br>老年看護学実習Ⅰ(地域で生活する高齢者ケア)<br>老年看護学実習Ⅱ(施設入所の高齢者ケア)<br>看護事例演習<br>統合看護実習   |            |    |        |         |  |  |   |
| 専          | 講師  | 主演 治子  | 平成27年4月 | ウイメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習  |            |    |        |         |  |  |   |
| 専          | 講師  | 山口 恵   | 平成28年4月 | 精神看護援助演習<br>精神看護学実習<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習  |            |    | 後任未定   |         | 平成27年3月<br>山口恵就任辞退(27)<br>A C教員審査<br>平成27年7月変更書提出予定  |  |   |

| 設置時の計画     |    |        |         |   | 変更状況       |    |        |         |  | 備考   |
|------------|----|--------|---------|---|------------|----|--------|---------|--|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名   | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  |  |
| 専          | 講師 | 松嶋 弥生  | 平成27年4月 | ウイメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |    | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>松嶋弥生就任辞退(27)<br>A C教員審査<br>平成27年7月変更書提出予定     |
|            |    |        |         |   | 専          | 助教 | 松島 泰恵  | 平成28年4月 | ウイメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習  | 平成27年3月<br>松嶋弥生就任辞退(27)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)      |
| 専          | 講師 | 後藤 雪絵  | 平成27年4月 | 老年発達援助演習<br>老年看護学実習Ⅰ(地域で生活する高齢者ケア)<br>老年看護学実習Ⅱ(施設入所の高齢者ケア)<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習  |            |    |        |         |  |  |
| 専          | 講師 | 高橋 奈津子 | 平成28年4月 | 成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習   |            |    | 後任未定   |         |  | 平成27年9月<br>高橋奈津子就任辞退(28)<br>「後任未定」平成27年9月から専任教員採用予定で公募中。 |
| 専          | 講師 | 長嶋 祐子  | 平成28年4月 | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習                        | 専          | 助教 | 棚橋 愛   | 平成28年4月 | 成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習                     | 平成27年12月<br>長嶋祐子就任辞退(28)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)     |
|            |    |        |         |   |            |    | 後任未定   |         | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)   | 平成27年12月<br>長嶋祐子就任辞退(27)<br>A C教員審査<br>平成28年6月変更書提出予定    |
| 専          | 講師 | 嶋野 ひさ子 | 平成27年4月 | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護マネジメント<br>医療安全管理論<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習 |            |    |        |         |  |  |
| 専          | 講師 | 岡本 さと子 | 平成27年4月 | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護マネジメント<br>医療安全管理論<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |    | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>岡本さと子就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。 |
|            |    |        |         |   | 専          | 講師 | 池西 和哉  | 平成28年4月 | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 平成27年3月<br>岡本さと子就任辞退(28)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)     |
|            |    |        |         |   | 専          | 助教 | 松島 泰恵  | 平成28年4月 | 看護マネジメント<br>医療安全管理論  | 平成27年3月<br>岡本さと子就任辞退(28)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)     |
| 専          | 講師 | 山崎 道子  | 平成27年4月 | 小児発達援助演習<br>小児看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習   |            |    |        |         |  |  |
| 専          | 講師 | 森山 恵美  | 平成27年4月 | 在宅看護援助演習<br>在宅看護実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習  |            |    |        |         |  |  |
| 専          | 講師 | 小澤 美和  | 平成27年4月 | 地域看護論<br>在宅看護援助演習<br>在宅看護実習<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>卒業演習   |            |    |        |         |  |  |



| 設置時の計画     |         |        |         |  | 変更状況       |      |        |         |  | 備考  |
|------------|---------|--------|---------|--|------------|------|--------|---------|--|---|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名      | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名   | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  |   |
| 専          | 助教      | 梶山 倫子  | 平成27年4月 | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習   |            |      | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>梶山倫子就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。 |
|            |         |        |         |  | 専          | 助教   | 片野 恵美子 | 平成28年4月 | 成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習   | 平成27年3月<br>梶山倫子就任辞退(28)<br>平成27年12月<br>A C教員審査済(28)     |
|            |         |        |         |  |            |      | 後任未定   |         | 成人発達援助演習Ⅰ(急性期・回復期)   | 平成27年12月<br>長嶋祐子就任辞退(27)<br>A C教員審査<br>平成28年6月変更書提出予定   |
| 専          | 助教      | 坂田 徳生  | 平成27年4月 | 小児発達援助演習<br>小児看護学実習<br>看護事例演習<br>統合看護実習  |            |      |        |         |  |   |
| 専          | 助教      | 関根 聡子  | 平成27年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習                                |            |      |        |         |  |   |
| 専          | 助教      | 山田 英子  | 平成27年4月 | 成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>看護事例演習<br>統合看護実習<br>災害・救急看護   |            |      | 後任未定   |         |  | 平成27年3月<br>山田英子就任辞退(27)<br>「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。 |
| 専          | 助教      | 久松 桂子  | 平成27年4月 | 成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>統合看護実習   |            |      |        |         |  |   |
| 専          | 助教      | 山下 尚美  | 平成27年4月 | 成人発達援助演習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)<br>統合看護実習  |            |      |        |         |  |   |
| 専          | 助教      | 小野坂 益成 | 平成27年4月 | 精神看護援助演習<br>精神看護学実習<br>統合看護実習  |            |      |        |         |  |   |
| 専          | 助教      | 秋葉 沙織  | 平成27年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 専          | 助教   | 樋口 美樹  | 平成27年4月 | 看護入門<br>看護方法論<br>生活援助技術A(環境の整備)<br>生活援助技術B(日常生活援助)<br>医療支援技術<br>フィジカルアセスメント<br>基礎看護学実習Ⅰ(看護の役割)<br>基礎看護学実習Ⅱ(生活援助)<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 平成27年4月<br>A C教員審査提出済(27)<br>平成27年6月<br>A C教員審査済(28)    |
| 兼任         | 教授(学部長) | 瀧口 洋   | 平成27年4月 | 自然科学<br>人間と環境  | 兼任         | 客員教授 | 瀧口 洋   |         |  | 職名変更(28)  |
| 兼任         | 教授      | 関口 宏道  | 平成27年4月 | 独語コミュニケーションA(文法)<br>独語コミュニケーションB(Reading)  |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 教授      | 伊藤 重行  | 平成29年4月 | 政治学  |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 教授      | 佃 直毅   | 平成28年4月 | 社会学<br>教育学   | 兼任         | 講師   | 望月 厚志  | 平成28年4月 | 教育学  | 就任辞退のため担当者の変更(28)                                       |
| 兼任         | 教授      | 石上 七輪  | 平成29年4月 | 伝統文化   |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 教授      | 案浦 崇   | 平成28年4月 | 経済学  |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 教授      | 阿部 美恵  | 平成27年4月 | 英語コミュニケーションA(Reading)<br>英語コミュニケーションB(Hearing)<br>英会話(看護英語)  |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 教授      | 川添 裕子  | 平成30年4月 | 異文化論   |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 准教授     | 松浦 広明  | 平成28年4月 | 公衆衛生<br>医療経済<br>保健医療福祉制度の国際比較  |            |      |        |         |  |   |
| 兼任         | 准教授     | 立野 貴之  | 平成27年4月 | 情報基礎<br>看護情報学  |            |      |        |         |  |   |



| 設置時の計画     |     |         |         |  | 変更状況       |     |         |          |  | 備考   |
|------------|-----|---------|---------|--|------------|-----|---------|----------|--|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名(年齢)  | 就任予定年月  | 担当授業科目名  | 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏名(年齢)  | 就任予定年月   | 担当授業科目名  |  |
| 兼任         | 准教授 | 藤巻 貴之   | 平成27年4月 | 心理学<br>感情と行動<br>医療コミュニケーション論                                 |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 助教  | 小林 夕紀恵  | 平成27年4月 | スポーツ論<br>スポーツ実技  | 兼任         | 講師  | 大石 武信   | 平成27年4月  | スポーツ論  | 就任辞退のため担当者の変更(27)                                    |
| 兼任         | 講師  | 大倉 多美子  | 平成27年4月 | 生化学基礎<br>看護のための生化学   | 兼任         | 講師  | 内田 哲也   | 平成27年10月 | 生化学基礎<br>看護のための生化学   | 平成27年10月退職のため担当者の変更(28)                              |
| 兼任         | 講師  | 櫻井 宏征   | 平成27年4月 | ホスピタリティ論 I<br>ホスピタリティ論 II                                    | 兼任         | 講師  | 小澤 信夫   | 平成27年4月  | ホスピタリティ論 I<br>ホスピタリティ論 II                                    | 就任辞退のため担当者の変更(27)                                    |
| 兼任         | 講師  | 三浦 佐千夫  | 平成30年4月 | 国際医療と看護協力  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 金子 勲    | 平成27年4月 | 生物学<br>看護のための薬理学   |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 長谷川 勤   | 平成27年4月 | 吉田松陰論  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 渡辺 良久   | 平成27年4月 | 保健医療福祉行政論<br>社会福祉概論  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 藤井 智恵子  | 平成28年4月 | 産業保健<br>健康教育論  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 勝部 憲一   | 平成30年4月 | 先端医療概論   |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 波多野 道弘  | 平成28年4月 | 病態と治療D(小児)   |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 神山 吉輝   | 平成29年4月 | 保健統計学  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 笠井 健児   | 平成28年4月 | 病態と治療E(女性生殖器)  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 麻妻 みちる  | 平成29年4月 | 法学   |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 金子 卓男   | 平成28年4月 | 病態と治療C(運動器)  | 兼任         | 講師  | 成尾 宗浩   | 平成28年4月  | 病態と治療C(運動器)  | 就任辞退のため担当者の変更(28)                                    |
| 兼任         | 講師  | 高村 夏輝   | 平成27年4月 | 哲学<br>倫理学  | 兼任         | 講師  | 高村 夏輝   |          |  | 職名変更(27)   |
| 兼任         | 講師  | 小長井 ちづる | 平成27年4月 | 看護のための栄養学  | 兼任         | 講師  | 佐藤 輝夫   | 平成27年4月  | 看護のための栄養学  | 就任辞退のため担当者の変更(27)                                    |
|            |     |         |         |  | 兼任         | 講師  | ヒューズ 美代 | 平成27年4月  | 看護のための栄養学  | 就任辞退のため担当者の変更(28)                                    |
| 兼任         | 講師  | 高乗 智之   | 平成29年4月 | 日本国憲法  |            |     |         |          |  |  |
| 兼任         | 講師  | 松本 幸枝   | 平成30年4月 | 災害・救急看護  |            |     |         |          |  |  |
| 専任補充       |     |         |         | 成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)  |            |     | 後任未定    |          |  | 「後任未定」平成27年3月から専任教員採用予定で公募中。(27)                     |
|            |     |         |         | 母性看護学概論<br>ウィメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 専          | 准教授 | 柴田 文子   | 平成27年4月  | 母性看護学概論<br>ウィメンズヘルス援助演習<br>母性看護学実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 平成27年4月<br>A C教員審査提出済(27)<br>平成27年6月<br>A C教員審査済(28) |
|            |     |         |         | 地域看護論<br>在宅看護援助演習<br>在宅看護実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習        | 専          | 准教授 | 井上 眞弓   | 平成27年4月  | 地域看護論<br>在宅看護援助演習<br>在宅看護実習<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習        | 平成27年4月<br>A C教員審査提出済(27)<br>平成27年6月<br>A C教員審査済(28) |
|            |     |         |         |  | 専          | 教授  | 丸山 昭子   | 平成28年4月  | 看護事例演習   | 担当者の追加(28)   |
|            |     |         |         |  | 専          | 助教  | 片野 恵美子  | 平成28年4月  | 卒業演習   | 担当者の追加(28)   |
|            |     |         |         |  | 兼任         | 講師  | 舘 秀典    | 平成28年4月  | 看護情報学  | 担当者の追加(28)   |

| 設置時の計画     |    |        |        |         | 変更状況       |    |        |         |  | 備考                                 |
|------------|----|--------|--------|---------|------------|----|--------|---------|--|------------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月  | 担当授業科目名  |                                    |
|            |    |        |        |         | 専          | 教授 | 村山 由子  | 平成28年4月 | 老年発達援助演習<br>老年看護学実習Ⅰ【地域で生活する高齢者ケア】<br>老年看護学実習Ⅱ【施設入所の高齢者ケア】<br>統合看護実習<br>看護研究<br>卒業演習 | 担当者の追加<br>平成28年3月<br>AC教員審査提出済(28) |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

| 設置時の計画 |       |       |       |        | 現在（報告書提出時）の状況 |     |    |    |          | 現在（報告書提出時）の完成年度時の計画 |       |        |       |          |
|--------|-------|-------|-------|--------|---------------|-----|----|----|----------|---------------------|-------|--------|-------|----------|
| 教授     | 准教授   | 講師    | 助教    | 計      | 教授            | 准教授 | 講師 | 助教 | 計<br>(A) | 教授                  | 准教授   | 講師     | 助教    | 計<br>(B) |
| 9      | 4     | 12    | 8     | 33     | 8             | 5   | 8  | 11 | 32       | 8                   | 5     | 8      | 11    | 32       |
| ( 6 )  | ( 4 ) | ( 6 ) | ( 6 ) | ( 22 ) |               |     |    |    |          | [ Δ1 ]              | [ 1 ] | [ Δ4 ] | [ 3 ] | [ Δ1 ]   |

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

| 年齢構成                   |                                      |                                  |
|------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 定年規定の定める定年年齢（歳）        | 報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 | 完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数 |
| 教授：70歳<br>その他：60歳<br>歳 | 8<br>名                               | 10<br>名                          |

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位   | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目             | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由               |
|----|------|--------|------------|--------------------|--------|----------------------------|
| 1  | 教授   | 篠原 百合子 | 必修         | 精神看護学概論            | ①      | 設置認可申請書類の記載条件と合わなかったため(27) |
|    |      |        | 必修         | 精神看護援助演習           | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 精神看護学実習            | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護研究               | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 卒業演習               | ①      |                            |
| 2  | 教授   | 川守田 千秋 | 必修         | 看護入門               | ①      | 設置認可申請書類の記載条件と合わなかったため(27) |
|    |      |        | 必修         | 看護方法論              | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 生活援助技術A（環境の整備）     | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 生活援助技術B（日常生活援助）    | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 医療支援技術             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | フィジカルアセスメント        | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 基礎看護学実習Ⅰ（看護の役割）    | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 基礎看護学実習Ⅱ（生活援助）     | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護研究               | ③      |                            |
| 3  | 准教授  | 高橋 明美  | 必修         | 小児看護学概論            | ②      | 健康上の理由のため(27)              |
|    |      |        | 必修         | 小児発達援助演習           | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 小児看護学実習            | ③      |                            |
|    |      |        | 選択         | 看護事例演習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 卒業演習               | ③      |                            |
| 4  | 講師   | 山口 恵   | 必修         | 精神看護援助演習           | ③      | 一身上の都合のため(27)              |
|    |      |        | 必修         | 精神看護学実習            | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護事例演習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 卒業演習               | ③      |                            |
| 5  | 講師   | 松嶋 弥生  | 必修         | ウイメンズヘルス援助演習       | ①      | 一身上の都合のため(27)              |
|    |      |        | 必修         | 母性看護学実習            | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護研究               | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 卒業演習               | ①      |                            |
| 6  | 講師   | 岡本 さと子 | 必修         | 成人発達援助演習Ⅰ（急性期・回復期） | ①      | 就任前に死亡したため(27)             |
|    |      |        | 必修         | 成人発達援助演習Ⅱ（慢性期・終末期） | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）  | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）  | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護マネジメント           | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 医療安全管理論            | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護研究               | ①      |                            |
| 7  | 助教   | 梶山 倫子  | 必修         | 成人発達援助演習Ⅰ（急性期・回復期） | ③      | 一身上の都合のため(27)              |
|    |      |        | 必修         | 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）  | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）  | ①      |                            |
|    |      |        | 選択         | 看護事例演習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
| 8  | 助教   | 山田 英子  | 必修         | 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）  | ③      | 一身上の都合のため(27)              |
|    |      |        | 選択         | 看護事例演習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ③      |                            |
|    |      |        | 必修         | 災害・救急看護            | ③      |                            |
| 9  | 助教   | 秋葉 沙織  | 必修         | 看護入門               | ①      | 健康上の理由のため(27)              |
|    |      |        | 必修         | 看護方法論              | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 生活援助技術A（環境の整備）     | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 生活援助技術B（日常生活援助）    | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 医療支援技術             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | フィジカルアセスメント        | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 基礎看護学実習Ⅰ（看護の役割）    | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 基礎看護学実習Ⅱ（生活援助）     | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 統合看護実習             | ①      |                            |
|    |      |        | 必修         | 看護研究               | ①      |                            |
| 必修 | 卒業演習 | ①      |            |                    |        |                            |

| 番号         | 職位 | 専任教員氏名              | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目             | 後任補充状況   | 就任辞退（未就任）の理由  |      |    |       |
|------------|----|---------------------|------------|--------------------|----------|---------------|------|----|-------|
| 10         | 講師 | 高橋 奈津子              | 必修         | 成人発達援助演習Ⅱ（慢性期・終末期） | ③        | 一身上の都合のため(28) |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）  | ③        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 選択         | 看護事例演習             | ③        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 統合看護実習             | ③        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 卒業演習               | ③        |               |      |    |       |
| 11         | 講師 | 長嶋 祐子               | 必修         | 成人発達援助演習Ⅰ（急性期・回復期） | ③        | 一身上の都合のため(28) |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 成人発達援助演習Ⅱ（慢性期・終末期） | ①        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）  | ①        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）  | ①        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 選択         | 看護事例演習             | ①        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 統合看護実習             | ①        |               |      |    |       |
|            |    |                     | 必修         | 卒業演習               | ①        |               |      |    |       |
| 合計（A）      |    |                     |            | 後任補充状況の集計（B）       |          |               |      |    |       |
| 就任を辞退した教員数 |    | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） |            | ①の合計数（a）           | ②の合計数（b） | ③の合計数（c）      |      |    |       |
| 11         | 人  | 必修                  | 69 科目      | 必修                 | 50 科目    | 必修            | 1 科目 | 必修 | 18 科目 |
|            |    | 選択                  | 5 科目       | 選択                 | 2 科目     | 選択            | 0 科目 | 選択 | 3 科目  |
|            |    | 自由                  | 0 科目       | 自由                 | 0 科目     | 自由            | 0 科目 | 自由 | 0 科目  |
|            |    | 計                   | 74 科目      | 計                  | 52 科目    | 計             | 1 科目 | 計  | 21 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況  
該当なし

| 番号      | 職位 | 専任教員氏名              | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目       | 後任補充状況   | 辞任等の理由   |      |
|---------|----|---------------------|------------|--------------|----------|----------|------|
|         |    |                     |            |              |          |          |      |
|         |    |                     |            |              |          |          |      |
|         |    |                     |            |              |          |          |      |
| 合計（C）   |    |                     |            | 後任補充状況の集計（D） |          |          |      |
| 辞任した教員数 |    | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） |            | ①の合計数（a）     | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） |      |
| 0       | 人  | 必修                  | 0 科目       | 必修           | 0 科目     | 必修       | 0 科目 |
|         |    | 選択                  | 0 科目       | 選択           | 0 科目     | 選択       | 0 科目 |
|         |    | 自由                  | 0 科目       | 自由           | 0 科目     | 自由       | 0 科目 |
|         |    | 計                   | 0 科目       | 計            | 0 科目     | 計        | 0 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計（A）+（C）  |   |                     |       | 後任補充状況の集計（B）+（D） |          |          |      |    |       |
|------------|---|---------------------|-------|------------------|----------|----------|------|----|-------|
| 就任を辞退した教員数 |   | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） |       | ①の合計数（a）         | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） |      |    |       |
| 11         | 人 | 必修                  | 69 科目 | 必修               | 50 科目    | 必修       | 1 科目 | 必修 | 18 科目 |
|            |   | 選択                  | 5 科目  | 選択               | 2 科目     | 選択       | 0 科目 | 選択 | 3 科目  |
|            |   | 自由                  | 0 科目  | 自由               | 0 科目     | 自由       | 0 科目 | 自由 | 0 科目  |
|            |   | 計                   | 74 科目 | 計                | 52 科目    | 計        | 1 科目 | 計  | 21 科目 |

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

9名の専任教員の辞任があったが、開設1年目ということもあり、1年次開講科目を担当している教員は2名である。そのうち1名の後任はすでに平成27年4月に就任しており、AC教員審査にも申請をしているため問題はないと考えている。残りの教員補充はすでに公募中であり、科目開講時までには後任を充てる予定である。学生への周知は新入生オリエンテーションの中で行っている。(27)

27年度開学前に11名(死亡1、辞任10)の辞任があった、この内訳は教授2名(川守田千秋、篠原百合子)、准教授1名(高橋明美)、講師5名(岡本さと子、高橋奈津子、長島祐子、松島弥生、山口恵、)、助教3名(山田英子、梶山倫子、秋葉沙織)であり、その理由は、本人の病気と家族の介護であった。しかし、27年度、1年次前期・後期に開講される専門科目の看護の基礎の教員については、新しい教員を採用し、文部科学省の教員審査に合格した教員が補充できたので授業開始のシラバスは入学時ガイダンスやシラバスにも掲載し問題なく新しい教員で行い、学生には何ら支障なかった。成人看護学は「成人看護概論」のため教授が就任しているので問題なく後期に開講された。(28)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画                        | 変更内容・状況, 今後の見通しなど  |
|-------------------------------|--|
| ① 卒業要件単位数<br>127単位 専門科目75単位以上 | ① 「看護研究」を必修科目としたため、2単位を追加し<br>129単位 内専門科目77単位とした<br>(2 授業科目の概要 参照) |
| ② 履修上限<br>年間48単位              | ② 配当科目数との整合性を図るため、3年次40単位、<br>4年次30単位とした。                          |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

|  |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成27年4月、全学FD・SD委員会のもとに、看護学部FD/自己点検評価委員会を設置し、第3木曜日委員会を行った。2年目をむかえ28年度の活動計画を平成28年4月21日定例会議で決定し、全教員に周知をした。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>年5回委員の教員全員参加で実施した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD活動の企画及び実行に関する事項</li> <li>・学生の授業評価に関する事項</li> <li>・自己点検評価に関する事項</li> <li>・第三者評価実施に関する事項</li> <li>・その他、FD・自己点検評価に関連する事項</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による授業評価の実施</li> <li>・自己点検評価報告書の作成</li> <li>・看護学部単独のFD研修会の企画・実施</li> <li>・文化教育研究所主催の研究会の参加</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>1. FD (Faculty Development) 等教員の資質・能力の向上への取組み</p> <p>FD・自己点検評価委員会は、FD・自己点検評価委員会規程に基づき、「本学部の教育・研究活動を発展させるための方策を講ずるとともに、その活動を自ら点検評価し、本学部の教育・研究水準の向上を図ること」を目的とし、教授、准教授、事務職員等を構成員として、「FD活動の企画及び実行に関する事項、学生の授業評価に関する事項」等を審議する機関として規定されている。平成27年度は、FD・自己点検評価委員会を開催し、下記のことを実施している。</p> <p>① 授業公開</p> <p>本学部では授業公開を原則としており、教員による授業公開を実施している。</p> <p>② FD講演会</p> <p>学部内外講師によるFD講演会を3回実施した。</p> <p>③ 学生による授業評価</p> <p>学生による授業評価を前期・後期(全教員対象)の学期末に、アンケート方式により実施した。授業担当教員にはその担当した授業科目毎の授業評価結果を提示している。また学生に対しては授業評価結果を公表してきていなかったが、本年度後期開講の授業科目に対する学生の授業評価結果から公表することとした。また、教員全体の平均値を記載した授業評価結果を教授会、教務委員会に報告してきたが、本年度開講の授業科目に対する学生の授業評価結果から、各教員に対する学生の授業評価結果についても教授会、教務委員会に報告している。</p> <p>2. 教員の研修</p> <p>FD・自己点検評価委員会は、FD講演会の企画実施を除き、教員研修計画全般を企画・立案し、学外の間連研修会に参加している。また、新規採用教員については、採用時に学部長や専門分野の先輩教員からの指導講話を行うと共に、専門領域ごとに実際の事例研修などを定例的に実施している。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>1回: 27年7月31日(金) 13:00~16:35①講演大橋優美子学部長「松蔭大学看護学部の教育の編成とカリキュラム構築の根拠・成り立ちについて」、②教員のグループワークと発表「当大学の専門領域の教育目的と目標の理解と各領域の役割について」、この研修の評価(アンケート方式)</p> <p>2回: 27年9月25日(金) 13:30~15:30講義・実技 松浦准教授「PC統計分析の現状について」この研修の評価(アンケート方式)</p> <p>3回: 27年11月26日(木) 13:00~14:00講演「ハラスメント対策の必要性」</p> <p>4回: 27年12月25日(金) 13:00~15:30①湯沢教授、大堀准教授「看護の基礎領域のめざす教育目標、教育内容と方法について」27年度の実施報告と課題発表後、意見交換。この研修の評価(アンケート方式)</p> |
|--|

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

松蔭大学看護学部の教育の目的達成のために、28年度は、小児・成人・老年・在宅・精神領域の講義の構築と狙い及び指導方略について教員全体で理解できる勉強会を企画すると共に看護学部教員の研究に役立つ項目を研修課題とし、FD/自己点検評価委員会を企画を年4回をめぐりに進める予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・27年度は、1年前学期、後学期終了時に専任者、兼任者、非常勤に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・看護学部FD/自己点検評価委員会、評価要項を作成し、実施後のまとめを冊子に作成し、看護学部の教員・学生に配布した。また、文科系他学部の教員も閲覧できるように大学図書館に冊子コーナーを設けた。学長、副学長、各学部長、事務局長等に配布した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

27年度を終了し、看護学部は、学園の建学の精神・教育基盤「知行合一」に則り、人間に対する総合的理解に基づき、健康の回復とその維持促進に係わる看護に関する専門の学術を学修し、看護職として必要な幅広い専門的知識と優れた技術、人々の健康な生活に貢献できる創造性と高い倫理観と人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とし、目標を以下の通りで、

1. 基本的倫理を身につけ、人間の生命と人格を尊重して行動できるホスピタリティ(他者を思いやる心)豊かな看護職者を育成する。
2. 知ることと行うことを繰り返し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる実学に強い看護職者を育成する。
3. 社会の健康ニーズに敏感で、保健医療福祉チームとの連携・協働して人々の健康生活を支援・変革していく看護職者を育成する。
4. 学修体験を意味づけて言語化・共有化でき、個々の看護観ならびに看護理念を実践活動に具現化していく看護職者を育成する。
5. 入学時から看護学の将来を見据え、関心あるテーマと自分のキャリア発達について追求し、生涯にわたり看護専門職としての責任を果たしていく看護職者を育成する。

以上の5つ教育目的達成を目指す取り組みは、以下の通りである。

<カリキュラムの実施状況>

- 1) 1年次に配当された授業科目は、時間割通り行った。
- 2) 教室環境については、整備した視聴覚教育機器を活用した教授方法で学生に教育を効果的に行った。
- 3) 学生の資料作りや予習・復習のために、自由に使用できるコピー機、印刷機の導入は、効果的に活用されている。
- 4) レポート・記録物の提出用ロッカーを事務室外に設置したのは効果的で、大学事務室が閉鍵されても提出ができるので、学生は便利にしている。
- 5) 授業科目担当者の変更もなく、27年度前期・後期共に行った。
- 6) 1年次「基礎看護実習Ⅰ」も届の病院を使用し、効果的に実習が行われ、学生の実習についての感想もよく、知識の必要性を身につけた。
- 7) 必修科目については、1教科目ごとに学生個人の習熟度別に指導を行い学生の単位取得を支援する特別指導を5段階に分け行った。
  - ① 週1回の90分授業の中に小試験を行う。
  - ② 定期試験の不合格者対象の補講(90分8回)実施。
  - ③ 再試験対象者(56名)に補講(90分8回)実施。
  - ④ 再試験で60点を取得できなかった学生(38名)に補講と模擬試験を実施。
  - ⑤ 前回の補講で60点に満たない21名に特別補講を実施した。以上の教育環境の整備をもとに専任教員にきめ細かな講義や補修指導が行われている。

<看護学実習室について>

27年度は、授業がある基礎看護学・成人看護学領域の実習教材を全て完備するように配慮した。特にフジカルアセスメント教育教材に充実を図った。小児看護学・母性看護学、老年看護学・精神看護学、在宅看護学の実習室ごと備品は完備し、実習教材・教具などの消耗品は講義開始年度に購入し常に新しいものを備えるように考えた。

<図書館等の整備計画について>

27年度も看護学部として図書費用の購入計画(単行本・専門雑誌など)を提出している通りに購入は完了した。27年度も図書館の当大学の開館時間も午後7時45分までの貸出時間に延長は、学生の勉学により環境を提供できた。今後も学生サービスとして司書などのサービス業務を増すようする。

<学生生活のサポート>

27年度1年次より実施したチュータ制度は、学業相談や生活相談などのきめ細かい支援を行ったことにより学生や保護者との関係を有意義にすることに効果的であった。

<入学前教育・リカルデント教育>

入学前教育として、入学試験合格者に11月、12月の推薦入試では2回、2月の一般入学試験Ⅰ期、Ⅱ期の合格者は1回生徒に対し、国語・英語・理科についての課題を輸送し採点し解答を添えて返送し入学までの空間時間を勉強することを維持させる目的で実施を27年度も実施した。

また入学後は、当大学の他学部の教授8名の協力を得て、読解力・文章力・説明力等を補うためのリカルデント教育を実施し、これにより専門科目の講義の聴き方、ノートの取り方及び発表能力等に対する能力の向上の助けの成るよう実施している。

<入学学生数の確保状態>

27年度推薦入試を11月、12月に実施したが、推薦入試の志願者数は、募集数の1/3以下であった。一般入学試験では、受験者の相対的学力の問題について看護学部の入学試験委員会は総合取得点を55%~65%の成績獲得者に絞り合格を決定したが、入学後の学習成果は芳しくない学生が65%も占めたのが実状であった。28年度については広報・募集活動などを工夫し定員充足に努めるようにする。



<専任教員について>

27年度、専門基礎科目2名（教授1、准教授1）と専門科目の1年次開講の「看護の基礎」は6名（教授1、准教授1、助教4）、「成人看護学」5名（教授2、講師1、助教2）、「小児看護学」2名及び「老年看護学」2名（教授1、講師1）。女性と看護の「母性看護学」は3名（准教授1、講師1、助教1）が就任し、地域と看護の「在宅看護学」は4名（教授1、准教授1、講師2）と「精神看護学」1名（助教1）の25名が就任し、27年度講義のない教員は、必修科目で理解できない学生を担当し小グループでの補講や予習・復習等の支援・指導を行った。これによりかなりの学生が助けられ学業を続けられるようになった。

28年度は、看護の基礎1名（准教授）、成人看護学3名（講師1、助教2）、老年看護学2名（准教授1、講師1）、母性看護学1名（教授1）、精神看護学1名（教授1）の入職を実行し、教員数の充足と教員力の向上について一段の努力を行い、教育について一層の充実と努力をすすめていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年7月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審する。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 28年 7月 1日 ）